

# テキサス州議会議事堂 セルフガイドツアー

## 表

テキサス州議会議事堂は、1839年にキャピトルスクエア（州議会議事堂と周囲の公園用敷地）に指定された4つの区画地域の中核を成すものです。最初の議事堂が当地に建設されたのは1853年、総面積140 x 90平方フィート（約1,200平方メートル）、およそ15万ドルの建設費をかけて建てられた3階建てのライムストーンの建物でした。1881年初頭に新議事堂のデザインを全国から公募することになり、コンテストの結果、ミシガン州デトロイトの建築家、イライジャ・E・マイヤーズのデザインが選ばれました。新議事堂の建設に先立って1853年建設の最初の議事堂が1881年11月に焼失したため、キャピトルスクエアの向かい側に仮の議事堂が建てられ、新議事堂の建設中はそこで行政が行われました。起工式は1882年2月1日、3年後に土台と地下の壁が完成し、1885年3月2日に12,000ポンド（約5,450kg）の礎石が置かれました。1886年末までに2階の壁が完成し、1887年には銅の屋根が取り付けられ、1888年2月にはドームの頂点に亜鉛製の自由の女神像が置かれました。同年5月に開所式が行われ、年末に正式に承認を受けた州議会議事堂の面積は566 x 288平方フィート（約15,500平方メートル）で、建設費は370万ドル以上にのぼりました。

サンセット・レッド色の花崗岩でできた州議会議事堂は、1世紀以上もの間、テキサス・スピリットのシンボルとして輝き続けています。ここはテキサス州民によって州法が作られる州庁所在地です。建物の老朽化を予防し将来世代へ遺すために、1990～95年度テキサス州議会議事堂保存および拡張計画によって、建物の外観が1888～1915年当時に復元されるとともに、水道や電気などの主要システムが新しくなりました。復元前の建物の外観について詳しくお知りになりたい方は、州議会議事堂に点在する、見取り図に「N」印がついた展示物をご覧ください。

## 1. 南玄関広間

建物に入ったところには、スティーブン・F・オースティンとサム・ヒューストンの等身大の大理石像があります。1903年1月19日に、彫刻家のエリザベット・ネイによってここで除幕式が行われました。その後、この像の複製がワシントンDCにある国会議事堂に寄与されました。1936年頃に完成したテラゾの床面には、テキサスの土地で繰り広げられた12の戦い（アラモ、アナウアク、ベア、コレト、ガルベストーン、ゴリアド、ゴンザレス、パルメット、パロアルト、サビーン・パス、サン・ジャシント、ベラスコ）の記念画があります。19世紀後半にテキサスの画家、ウィリアム・ヘンリー・ハドル（1847～1892）によって描かれた2枚の記念画は、「サンタ・アナの降伏（the Surrender of Santa Anna）」と「デイビー・クロケット（David Crockett）」です。

## 2. 財務役員室

ここ財務役員室は、100年近く前に立法議員や州庁職員が給与小切手を換金した場所で、当時テキサス銀行としての役割を果たしていました。部屋の北隅にある鉄柵の奥には、紙幣や有価証券その他の州の法定通貨を収めていた3つの金庫室へ通じる戸口があります。役員室には、計算機やコンピュータが登場する前に使われていたアンティークの事務機をはじめ、議事堂の歴史的所蔵品が数多く展示されています。復元された役員室は現在、議事堂案内およびガイドサービス室となっています。

## 3. 円形広間とドーム

テキサス州の印章が中央にある1階のテラゾ床は、歴史を経てテキサスを統治した6つの国の印章に囲まれており、1936年のテキサス生誕百周年を記念して造られました。テキサス共和国時代の大統領と、テキサスがアメリカ合衆国の一部になってからの州知事の肖像画が、円形広間を囲むように4階まで掛けられています。テキサス最初の女性知事、ミリアム・ファークソンの大理石胸像は、エンリコ・セラチーノ（1880～1956）の手によるものです。ドーム部分の中央、頭上218フィート（約67m）に輝く星は、1958年に取り付けられ、最長部分が8フィート（約2.5m）あります。安全上の理由により、この部分のツアーは行われていません。

## 4. 農業博物館

議事堂がオープンして間もなく、ここは州の農産物展示室に指定されました。農業省がかつて使っていた昔の実験用具などは現在、アンティークの議事堂書棚と横長の展示ケースに陳列されています。展示されている食物はすべてテキサス州で収穫されたものです。最新技術を駆使したガラスの仕切りにより、建築当時の様子を部屋の東側の会議場所に至るまですべて見ることができます。部屋の西側に設置された6脚テーブルは、議事堂所蔵コレクションの中でも最大です。議事堂所蔵のオリジナルの木材家具は、当時の米国最大の家具販売店、シカゴのA. H. アンドリューズ・カンパニーのものであります。

## 5. 州務長官専用事務室

この歴史ある事務室では州務長官が執務を行っているため、一般のツアーは行われていません。約1世紀前のオフィス内部の様子を詳しく知りたい方は、事務室の外にある展示ケースをご覧ください。では次に、円形広間のそばにある大階段か、北または南ウィングのエレベーターで2階に上がってください。

## 6. 上院会議室

ここは31名の上院議員が集まって下院とともにテキサスの立法を審議する場所です。伝統的デザインのひだ飾りと、19世紀半ばに描かれたスティーブン・F・オースティンの肖像画（作者不詳）の前に、クルミ材でできた副知事のオリジナルの机が置かれていま

す。初期テキサスの著名な画家、ヘンリー・アーサー・マカードル（1836～1908）による2枚の大きな絵画が部屋の西側の中核になっています。「アラモの夜明け（Dawn at the Alamo）」も「サン・ジャシントの戦い（Battle of San Jacinto）」も厳然たる史実を描いたものではなく、テキサス史における二大対戦の雰囲気を与えている作品です。

## 7.知事応接室

ビクトリア朝の客間のようなこの部屋は公式の接見室になっていますが、アンティーク家具や芸術品鑑賞の目的で入室することもできます。当時使われていた台座や鏡、シャンドリア、表面を大理石で仕上げた大きなテーブル、またS字型のソファなどがあります。退室する時に、廊下の東側の壁に並んでいる展示ケースをご覧ください。ケースのうちのひとつは1階にあった元知事室の様子を説明しています。そこは現在知事の上級職員が使用しているため、ツアーは許可されていません。

## 8. 下院会議室

この会議室は議事堂にある部屋の中で最大のもので、150名の下院議員が上院とともにここでテキサスの州法を制定します。議事堂の歴代所蔵品の中では唯一のテキスタイル（織り布）が議長の机の後ろに掛けられています。これは、1836年のサン・ジャシントの戦いの時の旗です。その他の芸術品には、初めてのテキサス生まれの州知事、ジェームス・スティーブン・ホッグの肖像（フリーマン・ソープ作）や、ヘンリー・アーサー・マカードルによる「オースティンの植民地入植（the Settlement of Austin's Colony）」、またサム・ヒューストンの肖像（ウィリアム・ヘンリー・ハドル作）などがあります。会議室の東側を出て、大階段かエレベーターを使って3階北ウイングへお進みください。

## 9. 立法参考図書館

アトリウム（中央広間）を囲む手すりから下を見ると、テキサス立法関連資料の宝庫、立法参考図書館が見えます。かつて州立図書館の一部でもあったこの図書館には、北側の壁に沿って置いてある机のような椅子をはじめ、ユニークな歴史的所蔵品があります。この椅子はサンタ・アナがテキサスとの対戦中に使ったとされています。さらにカーペット敷きの床にもご注目ください。元の床はリノリウムでしたが、その後図書館職員から音が響かない素材をとの要望があったため、議事堂復元計画時にリノリウムのデザインと色をカーペットで表現したのです。

## 裏

## 10. 最高裁判所法廷

ここは1888年から、裁判所が議事堂の北西に移転する1959年まで、テキサス司法制度の中心部の役割を果たしました。現在ここは会議室として使われていますが、クルミ材でできた机などの調度品、細かく飾りが施されたひだ飾り、あるいは洗練されたウール

のカーペットなどから、当時この裁判所がどれほど重要な意味合いを持つものであったかがわかります。判事席には「私たちの父親に接せられたごとく、神が私たちにも接してくださいように」という意味のラテン語が刻まれています。傍らにある3枚の肖像画はそれぞれアブナー・リップスコム、ジョン・ヘンピル、ロイヤル・ホイラーで、議事堂が所蔵するコレクションのなかでも最も初期のものです。この3人は、テキサスが1846年に州として併合されてから最初に務めた最高裁判所判事です。

## 11. 刑事控訴裁判所法廷

1891年のテキサス法改正により刑事裁判所と民事裁判所の義務が分割されるまでの3年間のみ、控訴裁判所として使われていました。その後ここでは刑事控訴裁判所が移転する1959年まで、刑事控訴裁判の審理が行われていました。この法廷は最高裁判所法廷と比べると装飾の入念さという点で劣りますが、一般席や丸みを帯びた弁護士用テーブルをはじめ、オーク材で作られた室内調度品の多くは、ホールの向かいにあるクルミ材のそれと調和しています。では次に、北ウィングのエレベーターで地下の円形広間へ降りてください。

## 12. 地下円形広間

1980年までには、地下は通路が狭い迷路のような状態になっていましたが、現在では、以前と比べてオリジナルの建築をより反映したものになっています。地下円形広間に立って上を見上げると、ガラスブロックが見えます。当初1階の円形広間には、ガラスブロックの八角形デザインが使われていましたが、1936年にテラゾの床資材に取り替えられました。その後復元計画の一端として、1階がテラゾの床でも地下から1階を見上げると従来使われていたようなガラス床として見えるように、新しいガラスブロックの薄板が地下の天井に張られました。床はコンクリートで、天井も低く、飾り付けもシンプルな地下は、倉庫として使う目的で作られました。では次に木造のドアを出て階段を降りるかエレベーターを使い、北ウィングを出て延長部（E1）に向かってください。

## 13. 議事堂延長部

議事堂が復元される前、1993年に地下の議事堂延長部が完成して、議員室や職員室をはじめ、事務機器などのスペース不足の問題が解決されました。この延長部は、上院下院議員室用スペースだけでなく、書店、カフェテリア、公聴室、講堂、議事堂職員用の2階建ての駐車場などを完備しています。カフェテリアの外に出たところで下を見ると、テラゾ床に、反転したテキサス州の印章が刻まれているのが見えます。その周囲にはテキサス史上で重要な役割を果たした人物の胸像が並んでいます。退出するには、逆戻りして議事堂へ出るか、屋外円形広間のそばにある2台のエレベーターのいずれかを使って北構内に出てください。

開館時間

テキサス州議会議事堂の平日の開館時間は午前7時から午後10時まで、週末の開館時間は午前9時から午後8時までです。議会開会中の開館延長時間については、512-463-0063までお問い合わせください。議会は奇数年の1月第2火曜日から140日間開会されます。

## ツアー

議事堂案内およびガイドサービスの平日業務時間は午前8時から午後5時まで、週末の業務時間は午前9時から午後5時までです。また、ガイドが所要時間30～45分の無料ツアーを、感謝祭、クリスマスイブ、クリスマス、元旦、イースターを除く毎日行っています。ツアーの時間帯は次の通りです。

月 - 金： 午前8時30分～午後4時30分

土： 午前9時30分～午後3時30分

日： 正午～午後3時30分

## 観光案内センター

構内の東南隅に位置する議事堂観光案内センターでは、一般公開の展示物と23分の長さのビデオ「ひとつ星の遺産 (A Lone Star Legacy)」を通じて、議事堂構内にある建築物や敷地について紹介しています。大規模なテキサス・ギフトショップもあります。10人以上の団体の方は、事前のツアー予約をお勧めします。観光案内センターの予約番号は512-305-8400です。テキサス観光情報については、512-463-8586までお問い合わせください。

## 議会開会中

議会開会中の議事堂は大変混雑します。駐車スペースは限られ、議事堂内が混み合っていたり特定の場所への出入りが禁じられることがありますのでご了承ください。通常、開会中にツアーを許可されるのは、立法会議室にある回廊だけです。

## 注意事項

議事堂内にある調度品や絵画、彫像などにはお手を触れないようお願いします。写真撮影は、特に断りがない限り、議事堂、延長部、構内のいずれにおいても許可されていません。議事堂内のツアーに参加されている間は団体行動に従い、大声は慎んでください。高校生までの生徒の見学には、10人当たり1人の引率が必要です。ツアー中の飲食は禁じられています。議事堂延長部のカフェテリアをお使いになるか、議事堂構内でピクニックをお楽しみください。

デザイン      テキサス大学オースティン校印刷サービスおよびデザインセンター  
(University of Texas at Austin, Printing Services and Design Center)

Copyright 1999 State Preservation Board, Austin, Texas

